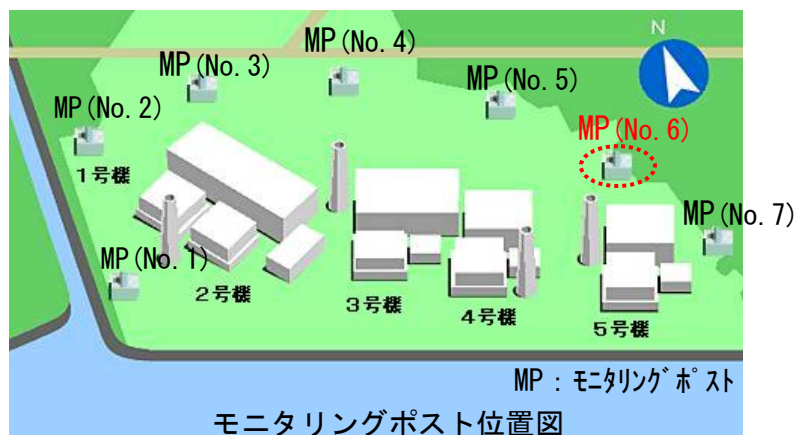


モニタリングポスト No.6 における自然放射線の変動範囲を超える
放射線モニタ指示値の変動について

2011 年 3 月 22 日

発生年月日	2011 年 3 月 22 日															
状 況	<p>2011 年 3 月 21 日午後 6 時頃から、浜岡原子力発電所の敷地境界の 7 箇所に設置しているモニタリングポスト^{※1}の放射線モニタ指示値に上昇があり、その内、22 日午前 3 時 20 分に、モニタリングポスト No.6 地点の測定値が自然放射線の変動範囲を逸脱したことからお知らせします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>MP</th> <th>通常変動幅</th> <th>3/21 午後 6 時頃</th> <th>3/22 午前 3 時 20 分</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.1-5, 7</td> <td>57~108nGy/h^{※2}</td> <td>62nGy/h</td> <td>102nGy/h</td> <td>105 nGy/h</td> </tr> <tr> <td>No.6</td> <td>58~100nGy/h</td> <td>64nGy/h</td> <td>101nGy/h</td> <td>103 nGy/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>MP:モニタリングポスト</p> <p>浜岡原子力発電所 4、5 号機は安定運転を継続しており、原子炉水中のヨウ素濃度や排ガス放射線モニタ等の燃料健全性に係わる運転パラメータに異状はなく、排気筒放射線モニタの値に有意な指示の変動はありません。</p> <p>以上から、本事象は浜岡原子力発電所に起因したものではありません。 なお、現在、モニタリングポスト No.6 の指示値は、自然放射線の変動範囲内で推移しています。</p>	MP	通常変動幅	3/21 午後 6 時頃	3/22 午前 3 時 20 分	最大値	No.1-5, 7	57~108nGy/h ^{※2}	62nGy/h	102nGy/h	105 nGy/h	No.6	58~100nGy/h	64nGy/h	101nGy/h	103 nGy/h
MP	通常変動幅	3/21 午後 6 時頃	3/22 午前 3 時 20 分	最大値												
No.1-5, 7	57~108nGy/h ^{※2}	62nGy/h	102nGy/h	105 nGy/h												
No.6	58~100nGy/h	64nGy/h	101nGy/h	103 nGy/h												
原 因	<p>モニタリングポストの放射線モニタの指示変動時、浜岡原子力発電所周辺では雨が降っており、その影響で、放射性物質を含むちりやほこりが地表まで降下したことでモニタリングポストの放射線量が上昇したものと推定しました。</p> <p>なお、当社が現在おこなっている、空気中のちりやほこり等のサンプリングでは、放射性ヨウ素等の人工放射性物質を検出しており、今回の指示変動の要因の一つであると推定しています。</p>															
お知らせ基準	<p>「表 1-5 気体状または液体状の放射性廃棄物の計画外の排出があったとき、あるいは排気筒モニタ、放水口モニタまたはモニタリングポストの警報が点灯したとき、または排気筒等のガスサンプリングで放射性物質を検出したとき。」に該当します。</p>															



※1 モニタリングポストは、浜岡原子力発電所の敷地境界付近の放射線を測定する設備で、7 箇所に設置しています。

※2 Gy(グレイ)は、放射線が物質に当たったときに、その物質に吸収されたエネルギーの量(吸収線量)を表す単位です。nGy/hは、1時間あたりの吸収線量を表します。
また、n(ナノ)は、10億分の1を表します。

以 上